

2025年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	法学又は政治学の基礎に関する論文
<p>問1 法学を選択する者は、次に掲げる(1)及び(2)のうちの<u>いずれか1題を選択</u>して解答しなさい。</p> <p>(1) 【別紙1】所掲の新聞記事の抜粋を読み、当該記事で取り上げられている事象が、法的にどのような問題を孕んでいるのかを論じなさい。</p> <p>(2) 【別紙2】所掲の新聞記事の抜粋を読み、当該記事で取り上げられている事象が、法的にどのような問題を孕んでいるのかを論じなさい。</p> <p>《注意事項》</p> <ul style="list-style-type: none">・解答の冒頭に、選択した問題の番号を明記すること。・両方の問題に解答した場合は、不正な答案とみなす。・これは、特定の法律や制度に関する知識の量を測る試験ではなく、現実の社会問題を法的に分析する力を測る試験である。・解答の分量は指定しない。成績評価は、文章量の多寡よりも、法的に明瞭で論理的な文章であるかどうかを重視して行う。	

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

2025年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	法学又は政治学の基礎に関する論文
<p>問2 <u>政治学</u>の基礎に関する問題を選択する場合には、以下の5問のなかから <u>2問</u>を選び、解答しなさい。解答する問題の番号を明記すること。</p> <p>(1) 政治学における正統性とは何か。論ぜよ。</p> <p>(2) 各国の政治制度と経済発展の間に因果関係は見出し得るか。一例として、民主主義は経済発展に好影響を与えるか。論ぜよ。</p> <p>(3) グローバル化は国家主権を弱めるか。論ぜよ。</p> <p>(4) 地球温暖化に対する国際機関および主要国の対応について、1990年代から2020年代までの経緯を踏まえたうえで、批判的に論ぜよ。</p> <p>(5) ポピュリズムは民主主義の衰退と発展、どちらの兆候と言えるか。論ぜよ。</p>	